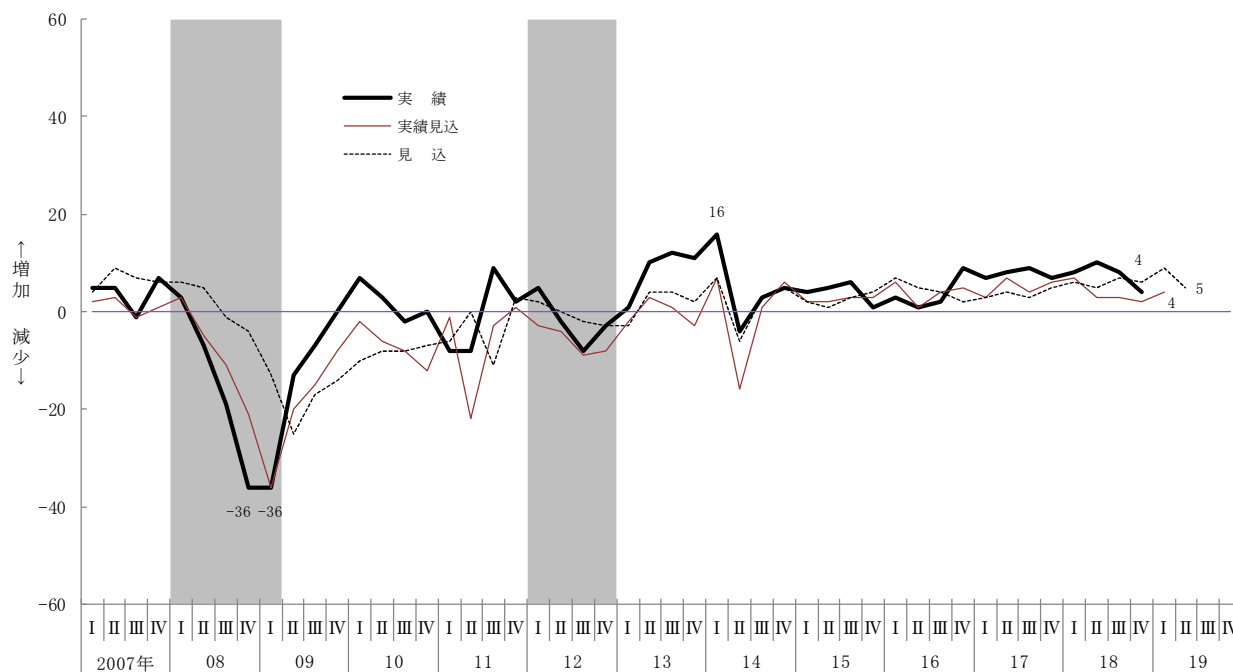


V 統計図表

第1図 生産・売上額等判断D.I. (季節調整値) の推移

調査産業計

(ポイント[増加(%)-減少(%)])



注:1) 「生産・売上額等判断D.I.」とは、当該期を前期と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。

2) ローマ数字は四半期(I :1~3月、II :4~6月、III :7~9月、IV :10~12月)を示す(以下同じ)。

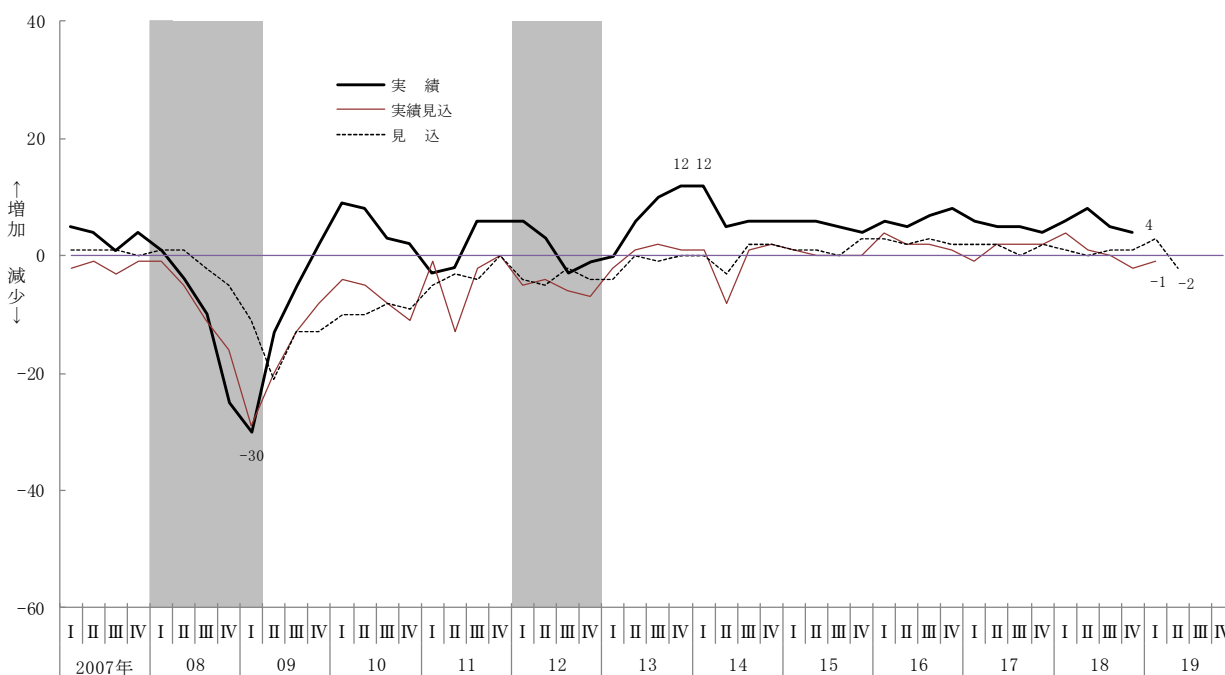
3) 網掛け部分は内閣府の景気基準日付(四半期基準日付)による景気後退期を示す(以下同じ)。

4) 無回答を除いた集計による。

第2図 所定外労働時間判断D.I. (季節調整値) の推移

調査産業計

(ポイント[増加(%)-減少(%)])

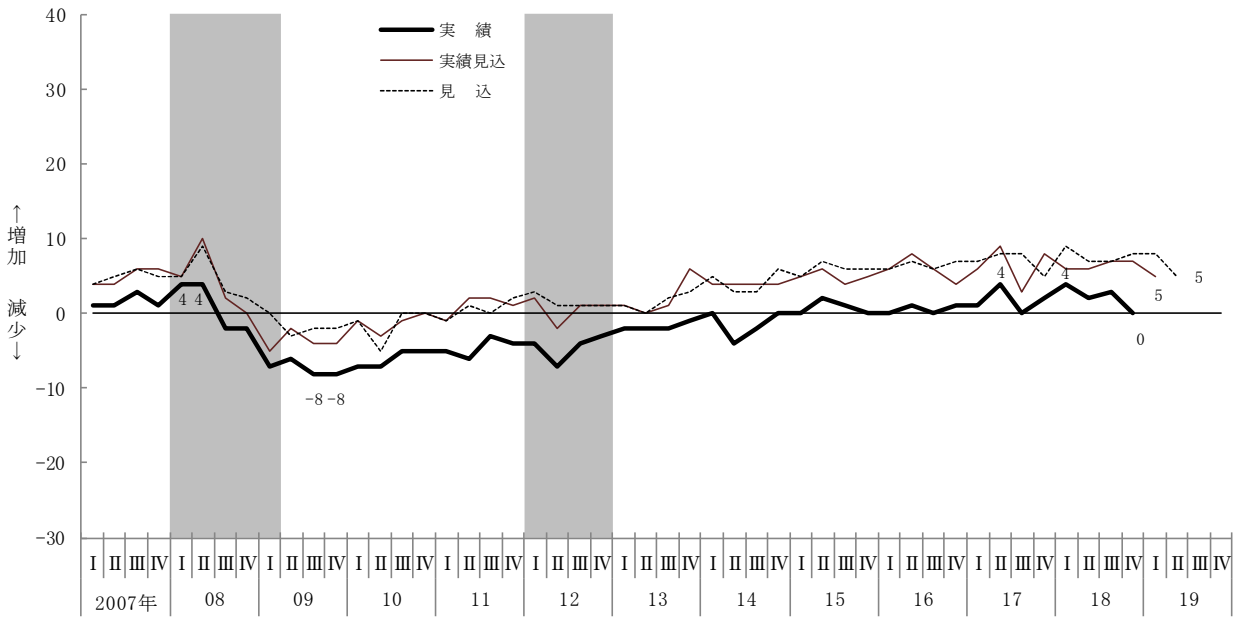


注:1) 「所定外労働時間判断D.I.」とは、当該期を前期と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。

2) 無回答を除いた集計による。

第3図 正社員等雇用判断D.I. (季節調整値) の推移

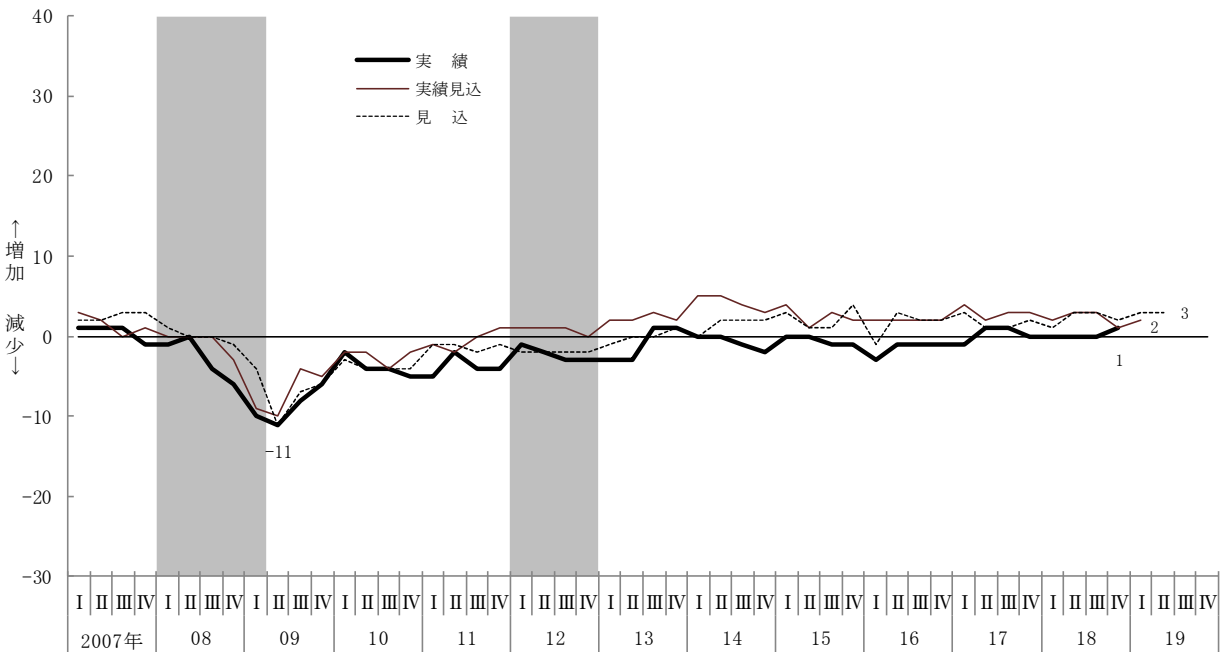
調査産業計
(ポイント[増加(%)-減少(%)])



- 注:1) 「正社員等」については、2007年11月調査以前は「常用」として調査していた。そのため、実績は2007年IV期、実績見込は2008年I期、見込は2008年II期以降の数値とは厳密には接続しない。
 *「常用」・・・雇用期間を定めなくて雇用されている者をいう。パートタイムは除く。
 2) 「雇用判断D.I.」とは、当該期間末を前期間末と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。
 3) 無回答を除いた集計による。

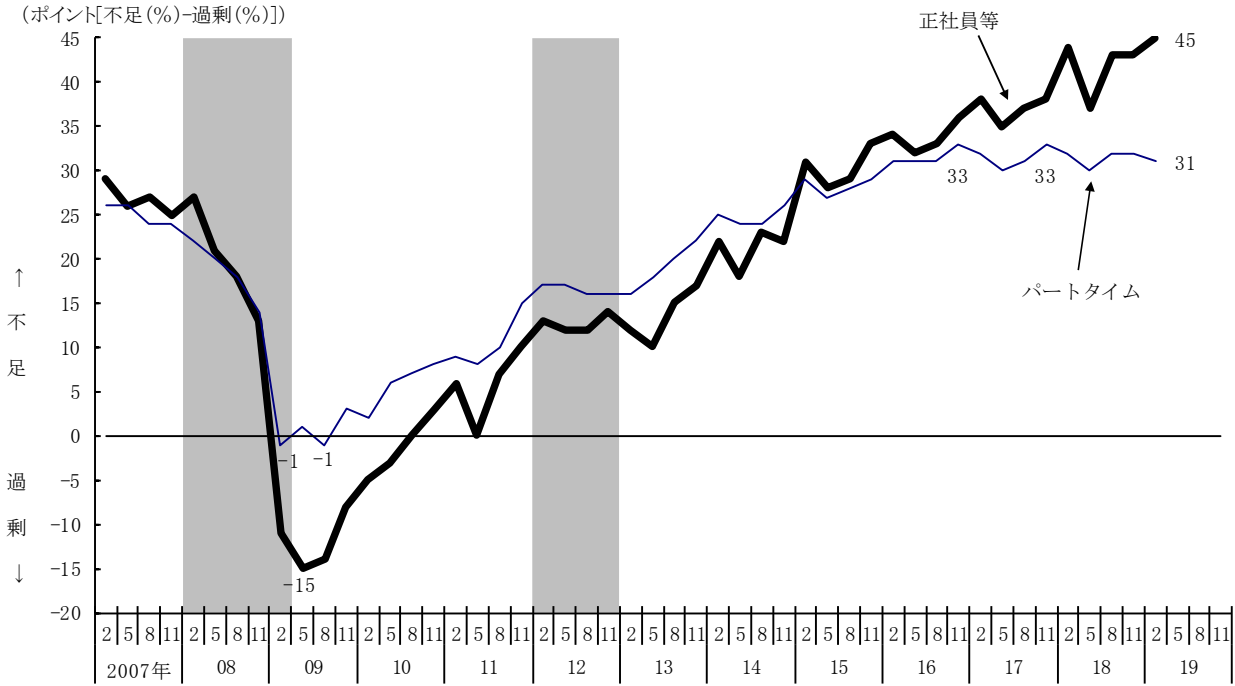
第4図 パートタイム雇用判断D.I. (季節調整値) の推移

調査産業計
(ポイント[増加(%)-減少(%)])



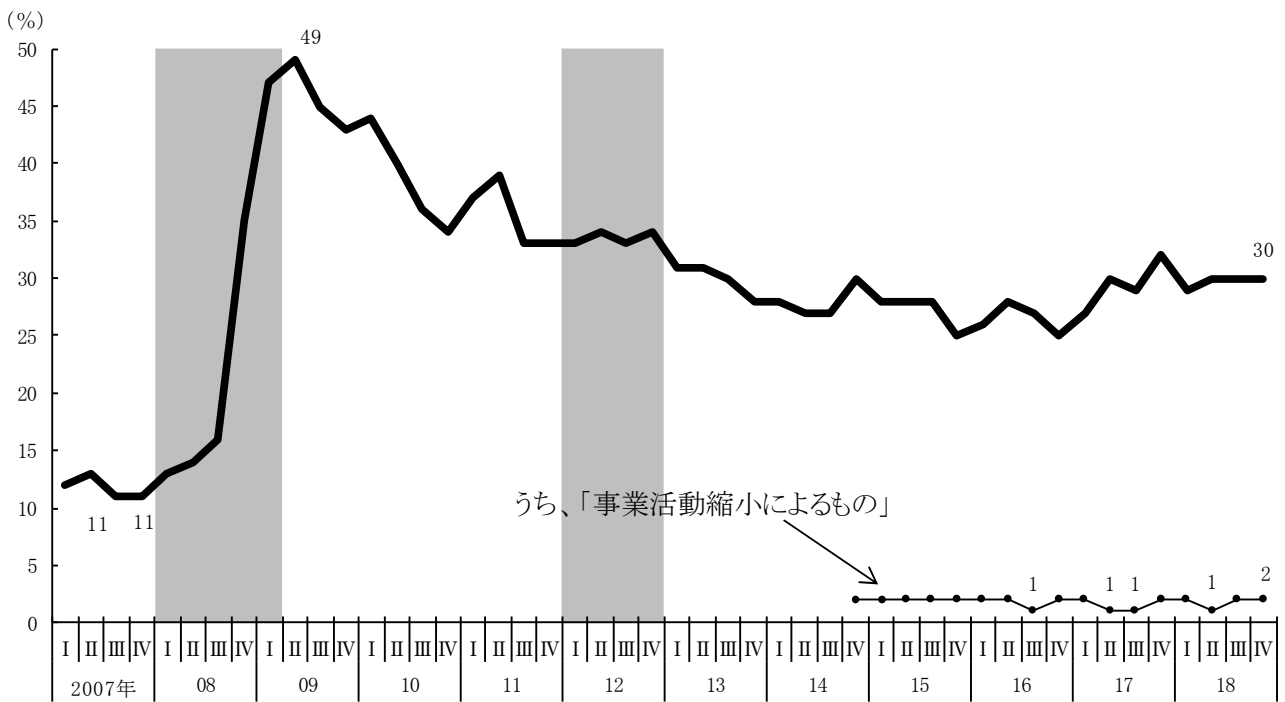
- 注:1) 「雇用判断D.I.」とは、当該期間末を前期間末と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。
 2) 無回答を除いた集計による。

第5図 雇用形態別労働者過不足判断D. I. の推移 (調査産業計)



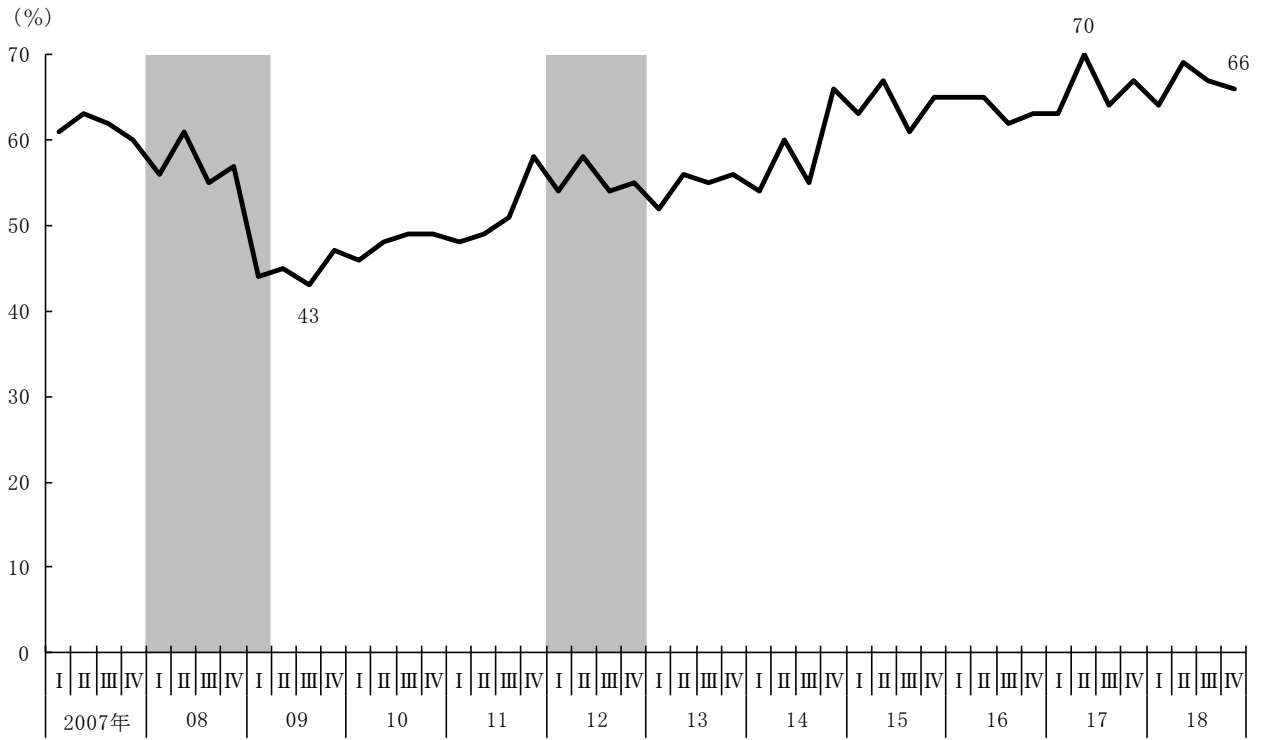
- 注:1)「正社員等」については、2007年11月調査以前は「常用」として調査していたため、2008年2月調査以降の数値とは厳密には接続しない。
 *「常用」…雇用期間を定めずに雇用されている者をいう。パートタイムは除く。
 2)「労働者過不足判断D.I.」とは、「不足」と回答した事業所の割合から「過剰」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。
 3)グラフ横軸の「2」は2月1日現在、「5」は5月1日現在、「8」は8月1日現在、「11」は11月1日現在の状況を示す。
 4)無回答を除いた集計による。

第6図 雇用調整実施事業所割合の推移 (調査産業計・実績)



注: 無回答を「実施していない又は予定がない」とみなした集計による。

第7図 中途採用の実績がある事業所割合の推移（調査産業計・実績）



注:無回答を除いた集計による。